

平成 20 年 5 月 15 日

各位

会社名 株式会社ソフィアホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 飯田 裕樹
 (コード番号 6942)
 問合せ先 取締役 情報開示担当 柴山 孝輔
 (TEL 03-5365-1035)

業績予想との差異に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 11 月 9 日の中間決算発表時に公表しました平成 20 年 3 月期の業績予想につきまして、本日の決算発表との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

通 期 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

	売上高(百万円)	営業利益(百万円)	経常利益(百万円)	当期純利益(百万円)
前回予想(A)	6,000	595	595	352
今回修正(B)	5,696	414	403	461
増減額(B-A)	△304	△181	△192	109
増 減 率	△5.1%	△30.3%	△32.2%	31.0%
前期(通期)実績	4,405	360	240	△330

2. 単独業績予想

当社は平成 19 年 4 月 1 日より持株会社移行にあたり、連結ベースでのグループにおける経営管理を行っておりますので、単独での業績予想につきましては、差し控えさせて頂いております。

3. 業績予想差異の生じた理由 (連結)

昨今の事業を取り巻く厳しい環境を踏まえながらも、前回発表の予想では順調な見通しを挙げておりましたが、当事業年度における売上高は、予想値より連結で△5.1%の減収となりました。

子会社株式会社ソフィアシステムズの業績改善や子会社ソフィア総合研究所株式会社の好調が、前期実績を上回った理由として挙げられます。

営業利益につきましては、子会社株式会社ソフィアモバイルの電子POP端末における試作・開発関連費用を資産計上する予定でしたが、97 百万円を一括償却したことで営業利益は予想を下回りました。

経常利益につきましては、関連会社の株式会社DOMIRUにおきまして持分法投資損失として、56 百万円計上したために経常利益は予想を下回りました。

当期純利益につきましては、投資有価証券評価損として 70 百万円を計上したものの、連結として累積損失の解消により、来期以降も黒字化の見通しにおいて、繰延資産として 182 百万円を法人税調整額として計上したため、当期純利益は予想を上回りました。

その結果、連結売上高 5,696 百万円、連結営業利益 414 百万円、連結経常利益 403 百万円、連結当期純利益 461 百万円となりました。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上